

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	講話を集中して聴き、板書した内容だけでなく、重要だと判断したことは主体的にノートに書き取ること。疑問に思ったことを臆さずに質問できるといいへん好ましい。演習での積極性は高く評価する。		15		
レポート／作品	「社会福祉現場における心理的支援について」、第15回授業に提出。社会福祉に携わる者としての自覚はもちろんのこと、視点にオリジナリティとバランスの良さがあることを期待する。提出前によく見直しがなされ、誤字脱字無く、論理的に明確な内容であること。		40		
発表					
小テスト	単元終了毎に、その翌週の授業冒頭で実施し、日常の努力点として勘案する。用語は正確でなければならない。小テストを復習すれば、学年末試験での成果が期待できるしくみである。		5		
試験	論述試験を実施する。授業目標①～③が反映された、設問への適切な回答がなされていることを評価する。このため具体的な事象・事例の記述や多角的な視点からの考察はおおいに加点の対象になる。		40		
その他					
合 計			100		

回数		授業計画
1	授業内容	オリエンテーション:心理学の視点 人を理解する手段としての心理学 心理職「こころ」の存在へのアプローチ 心理学の誕生と発展 社会福祉実践と心理学
	事前・事後学習	事後学習として、他専門教科と心理学との関連性をマッピングする。
2	授業内容	テキストを読み予習しておく。パーソナリティ:類型論と特性論 心理学の理論を基礎にしたアセスメントと支援の基本(発達検査 知能検査 他) 個人差の考え方
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、授業内で行った簡易心理テストの結果を自己分析する。また、次回小テストに備える。
3	授業内容	感情:感情のしくみと機能 情動と生体反応 感情の発達 認知や記憶に及ぼす情動の影響
	事前・事後学習	事前学習として感情が原因の失敗経験を挙げておく。事後学習として、それらの経験に対しどのような対処が有効であるかを分析する。また、小テストに備えると共に、返却された小テストを用いて、失点部分の学習を補う。
4	授業内容	欲求と動機づけ:欲求階層説 動機づけと行動 欲求不満と葛藤 適応と不適応 悩むということ 日常生活とこころの健康
	事前・事後学習	自分がどういう場面で欲求不満を感じ易いかを事前に点検しておく。事後学習として、授業で得た知識を参考にしながら、自分の場合は欲求不満耐性を培うのにはどのような方法が有効であるかを分析する。また、適応機制のそれぞれに対し、身近な事例をノートに挙げる。小テストに備えると共に、返却された小テストを用いて、失点部分の学習を補う。
5	授業内容	感覚・知覚・認知:情報処理の生理学的しくみ 刺激と感覚 注意 認知地図 認知バイアス
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、小テストに備えると共に、返却された小テストを用いて、失点部分の学習を補う。
6	授業内容	人のこころの基本的なしくみと機能:遺伝の影響 脳の構造 記憶のしくみ 記憶の役割 忘却 思考 加齢と記憶力の関係性
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、小テストに備えると共に、返却された小テストを用いて、失点部分の学習を補う。

7	授業内容	学習:条件づけ 観察学習 洞察 馴化と鋭敏化 行動療法
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、小テストに備えると共に、返却された小テストを用いて、失点部分の学習を補う。
8	授業内容	人間環境と集団:対人認知と対人行動 自己開示・自己呈示と適応 集団社会で起こる様々な現象
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。事後学習として、周囲の人に適切な自己呈示を試してみる。また、返却された小テストを用いて、失点部分の学習を補う。
9	授業内容	人間環境と集団:集団が個人に及ぼす影響 集団ダイナミクス ソシオメトリー ソーシャル・サポート 福祉現場の人間関係
	事前・事後学習	事前学習として個人行動場面と集団行動場面での自分の行動の相違をノートに挙げ、事後学習としてその現象がどのような心理学的メカニズムによって発生したのかを考察する。さらに、福祉現場の人間関係の特異性をまとめる。
10	授業内容	心理療法:来談者中心療法 学習理論と行動療法 精神分析療法 遊戯療法 心理劇とロールプレイング 家族療法 支持的精神療法
	事前・事後学習	各心理療法の特徴や相違を表表する。
11	授業内容	人のこころの発達過程:発達とは ライフステージと発達課題 アイデンティティの発達 変容 生涯発達とキャリア
	事前・事後学習	人生 100 年時代の自分の人生イメージを図示してみる。
12	授業内容	人のこころの発達と変容:アドラー心理学的アプローチ レジリエンス 日常生活と心の健康
	事前・事後学習	テキストを読み予習しておく。アドラー心理学的アプローチを基に、他者とのコミュニケーションのあり方を見直し、実践してみる。その結果は、総合レポートに反映すること。
13	授業内容	こころの発達の基盤:愛着と信頼感 ソーシャルワークにおける心理的支援 心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援 社会的技能訓練法
	事前・事後学習	これまで学んできた心理学理論と心理的支援の方法を念頭に、他者とのコミュニケーションのあり方を見直し、実践してみる。その結果は、総合レポートに反映すること。
14	授業内容	適応と不適応:健康とは ストレス理論 ストレス・マネジメント 適応と不適応のはざま 依存症
	事前・事後学習	日常生活におけるストレス場面を想定すると共に、生活習慣や行動パターンを見直す。その結果は、総合レポートに反映すること。
15	授業内容	心理学と心理的支援:心理療法による見守りと介入 ソーシャルワーカーに求められるもの
	事前・事後学習	この授業全てを振り返り、期末考査に備える。